



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第9号

令和2年7月27日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆挨拶は、人より先に元気よく◆

校長 北島 啓行

“おはようございます!” “こんにちは!” 本校の生徒は、来校された方に対しても、自分の方から元気に挨拶をします。先日も、高等学校の先生が訪問されて、「部活動の練習中の生徒さんから“こんにちは!“と元気のよい挨拶をもらい、とても気持ちがよかった。」とお褒めの言葉をいただきました。入社試験を扱った新聞の記事に、「現代の若者は、“挨拶”と“はい”と言う返事ができない」ことが載っていましたが、本校の生徒たちの状況は、まずまずではないかと思っています。幼少のころから厳しく「挨拶」をしつけられている子どもは、体にインプットされ、誰にでも自分の方から言葉が出るようです。また、他人の心を理解できる人や現状認識の高い人は、挨拶を誰に対してもフレンドリーに行うことができます。

ところが、日本人にありがちなことですが、恥ずかしがったり、遠慮をして挨拶のときを逸している様子を見かけることがあります。その結果、お粗末な人間性の人だと誤解を得ることがあるので、自分から自然体で言葉が出るように心掛けたいものです。哲学者ゲーテは、「最初の挨拶は何千倍もの値打ちがある。だからすべての人に優しく挨拶を」と言っていますが、「挨拶」は好ましい人間関係を築く第1歩であり、それは「豊かな人間性」を培う原点でもあると言えます。なお、某大学の教授は卒業論文のために研究室に配属された学生に、最初に教えることは研究内容ではなく、「挨拶」と言っていました。

これからも貝塚中学校の生徒たちには、「挨拶は人より先に元気よく」を良い習慣として身に付け、一生の宝にしてもらいたいと思います。また、このことについて保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、家庭教育との連携を図りながら勧めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

◆キャリア教育の推進◆

キャリア教育は、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら生き方を実現するための力を、教育活動全体を通して育むことをねらいとしています。

なぜ、キャリア教育が必要かというところ・・・

- 産業界は、経済のグローバル化と国際競争下で、厳しい環境におかれている。
- 雇用システムの変化や求職希望者と求人希望の不適合の拡大が起こっている。
- 目的がはっきりしないまま、「とりあえず」進学する生徒が多くいる。
- 学ぶことの意義や楽しさを実感しながら、学習したことを活用して生活の課題を解決する力が不十分である。

こうした観点から、小中継続してキャリア教育の推進が行われています。

現在、第2学年では、「私のキャリアデザイン」を考える取組を行っています。これは、自分の生き方・価値観・大事にしたいことをもとに、現在自分で描いている将来の夢を考え、その具現化のために今何が必要かを考える授業です。2年生のフロア廊下に掲示をしてありますので、保護者面談などでご来校の際はご覧ください。



<廊下掲示のキャリアデザインシート>

◆第1回定期テストが終了しました◆

7月10日（金）に実施した第1回定期テストの個票を7月20日（月）に配布しました。各学年より、学年だより等で詳しい教科ごとの講評等が記載されていますので、ご覧ください。

定期テストは、通常の授業の範囲でどのくらい理解できているのか、どのくらい学習内容が定着されているのを見るものです。教科によっては、授業中でやった問題やワークの問題を、そっくりそのまま出題したという設問もあります。しかし、そういった問題ができないというのは、テスト対策や勉強方法の見直しをする必要があります。教科書や問題集を眺めているだけ、ワークはきちんと提出するものの、答えを写しているだけなどということはないでしょうか。

今年度の学校スタート時に、全学級で一斉に「学習の手引き」を使って授業に対する姿勢、テスト勉強の仕方など、オリエンテーションを行いました。再度この「学習の手引き」を確認し、家庭学習の充実に努めていただければ幸いです。

